

第三十三回特別展 はにわ馬

古墳時代、最先端の乗り物をどう造形したのか。

特別展の開催にあたって

来年の二〇二六年は、十二支という「午」年にあたります。国内において初源となる馬の痕跡は、河内地方（大阪府）周辺で調査された古墳時代の遺跡で発見され、五世紀後半になると群馬県内でも渡来人たちが関係し、馬の生産がはじまったことが指摘されています。

今回の展覧会は、市内で発見された馬形埴輪をできるだけ展示し観察することで、その特徴や時代的な変遷を掘り下げることを主眼に準備を進めてきました。最後になりましたが、この展覧会開催にあたり、貴重な資料を提供いただきました皆様、ならびに、多大なご助力をいただきました方々に、厚く御礼を申し上げます。

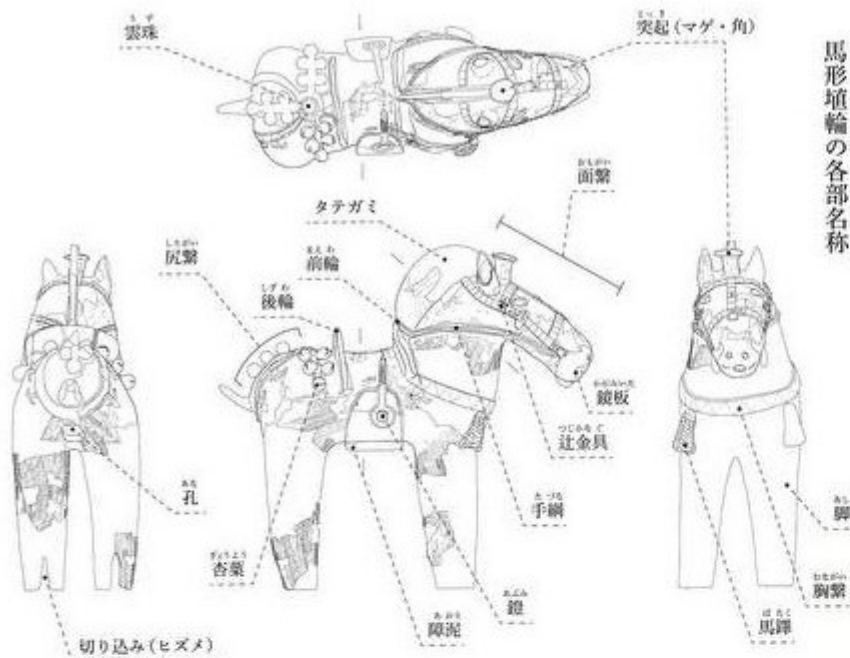
二〇二五年十二月

かみつけの里博物館 館長 岩下 浩

例言

- 一 本書は、かみつけの里博物館第三十三回特別展「はにわ馬―古墳時代、最先端の乗り物をどう造形したのか」の展示解説図録である。
- 二 本特別展の企画・構成・清水豊（本館学芸員）
事務・小泉龍明（同次長）、土子舞琴（同学芸員）、小澤麻美（同学芸員）
展示パネルの一部作成・高橋成花（同臨時職員）
- 三 本書の編集・執筆は清水が行った。また、関連事業として行う講座の要旨を付録として掲載した。
- 四 本特別展は以下のとおり実施される。
○会期 令和七年十二月六日（土）～令和八年二月十三日（月）
○会場 かみつけの里博物館 企画展示室
○関連事業（講座）
○二月八日（日）馬形埴輪からみる群馬県域の地域性―製作技法と形態的特徴から― 斎藤直樹氏（群馬県教育委員会）
五 本特別展の開催にあたり下記の機関よりご後援をいただいた。
NHK前橋放送局 エフエム群馬 群馬テレビ ラジオ高崎
六 本特別展の展示資料の情報は、巻末に一覧を付した。
七 本書内の写真 借用利用した場合は提供者名を明示し、高崎市文化財保護課提供のものは○を記した。表示がないものは、本特別展で撮影したものである。

馬形埴輪の各部名称



目次

第一章 馬形埴輪	2
第二章 馬形埴輪の見方	5
第三章 高崎市出土の馬形埴輪と土馬	9
市内出土の馬形埴輪・土馬一覧表	9
1. 五世紀後半の馬形埴輪	14
2. 六世紀前半の馬形埴輪	24
3. 六世紀中頃～後半の馬形埴輪	35
4. 土馬	46
第四章 人物埴輪―馬を曳く人	49
第五章 馬形埴輪を設置する場所―配列	59
第六章 馬形埴輪の変遷	61
付録「馬形埴輪からみる群馬県域の地域性―製作技法と形態的特徴から―」	62
斎藤直樹（群馬県教育委員会）	71
展示資料一覧表	72
参考文献 協力機関・協力者・編集後記	72